

# Macedonia **Eco-DRR** Newsletter

Capacity Building For ECO-DRR Through Sustainable Forest Management In MACEDONIA \_ Nov 2017 - Oct 2022

## 持続的な森林管理を通じた、生態系を活用した防災・減災（Eco-DRR）能力向上プロジェクト

本プロジェクトの目的は森林生態系の多様な機能を利用し、洪水、地すべり、土壌侵食、森林火災に対する生態系を活用した防災・減災（Eco-DRR）のモデルが開発されることです。

世界的な自然災害リスクの増大に伴い、Eco-DRRに対する期待は近年高まっています。

## Eco-DRR国際セミナーを開催しました

2019年10月29日から11月1日にかけて西バルカン諸国の防災及び森林管理関係機関の職員を招聘し、Eco-DRR国際セミナーをスコピエ市内にて開催しました。

西バルカン諸国からはボスニア・ヘルツェゴビナ、ブルガリア、コソボ、モンテネグロ、セルビアの5か国から計27名が参加し、マケドニア国内と日本からの参加者を含めて総勢68名での開催となりました。西バルカン諸国の参加者からは、「気候変動が著しい現在において、自然の機能を活用し、環境、社会、経済と多面的な利益を提供するEco-DRRの重要性が良く理解できた」「セミナー2日目にラドビシュのパイロットサイトを実際に視察した事で、治山工事の規模と活動に対する理解を深める事ができた」といった声が寄せられました。

最終日にはセミナーで学んだEco-DRRの手法を自国でも応用できるようグループディスカッション形式で協議し、将来的な自国での展開可能性についても検討いただきました。

この国際セミナーは、日本大使館、ラドビシュ市、マケドニア国内関係機関担当者を始め多くの方のご協力の下、無事開催する事ができました。心より御礼申し上げます。



国際セミナー集合写真

## スベティ・ニコレに苗畑機材を導入



コンテナ用自動土詰め播種機納品時

現在、PENF(森林公社)で問題となっている苗木の生産量不足解消とプロジェクトのパイロットサイトに植林する治山樹種の育苗を目的として、スベティ・ニコレの苗畑施設に機材を導入しました。トラクターやモーター式スプリンクラーといった露地栽培用機材や、苗畑技術の改善を目的としてコンテナ用自動土詰め播種機が納品され、ネット温室の改修も施されました。

プロジェクトでは有効な機材投入ができるよう、2回に分けて導入し、今後の活用状況をモニタリングすると共に、苗畑の技術指導も引き続き実施していきます。

## ラドビシュ南 チェックダム施工完了

Eco-DRRプロジェクトでは、治山技術を適用する活動区域(パイロットサイト)として、ラドビシュ市コジャリア、スコピエ市ボドノ山、そしてチャシュカ郡リシチェの3か所が選定されています。このうち、最初に手掛けたラドビシュ市コジャリア南地区におけるチェックダム(ガリーブラグ)が2019年11月に完成しました。

このチェックダムは小さい谷間の土砂をせき止め、山を安定させる働きがあります。ラドビシュ



施工が完了したチェックダム(ガリーブラグ)



コジャリアの村民 作業の様子

ではガビオンと呼ばれる鉄線に石を詰め込む鉄線谷止工の手法が用いられ、合計5基施工しました。治山工事においては、可能な限り作業員を付近の集落から雇用する事にしており、ラドビシュの現場においても、コジャリア村の村民に参加いただきました。現場に積極的に参加いただく事で、森林保全や防災に対する住民の意識が高まる事が期待されています。

## 第3回JCCを開催しました

2019年11月26日、第3回JCCを開催しました。第3回JCCではTCGの下に設置しているSub-TCG(成果毎の活動ユニット)の位置付けを確認し、活動の詳細について各成果担当者に一任して進めることで一致しました。これにより各Sub-TCGによる自発的な活動を推進し、C/Pのより積極的な活動を後押ししていく予定です。



第3回JCC協議の様子

## 今半期 成果毎の主な活動

### 共通の活動

- ◆第4回TCG (Technical Coordinating Group) の開催
- ◆第3回JCC (Joint Coordinating Committee)の開催

### 成果1: MKFFISの機能強化および活用

- ◆MKFFIS拡張開発およびGFISアップグレード (Risk Potential入力アプリ)開発完了
- ◆降雨流出氾濫モデル(RRI Model)の研修を実施

### 成果2: 森林管理計画強化

- ◆森林機能類型区分研修の実施
- ◆森林回復計画作成の為ラドビシュFMU内現地調査を実施

### 成果3: 治山+植林技術能力向上

- ◆ラドビシュ チェックダム及びフェンス施工完了、植林開始
- ◆スベティ・ニコレ ネット温室及び苗畑機材第1回目導入

### 成果4: Eco-DRR啓発普及

- ◆国際セミナーの開催
- ◆SNS等による広報活動



Macedonia Eco-DRR Facebook

<https://www.facebook.com/MacedoniaEco-DRR/>

## 次期半期のイベント

- 第5回TCG (Technical Coordinating Group)開催
- MKFFIS/GFIS研修の実施
- 森林管理研修および治山技術研修の実施
- ラドビシュ市コジャリア北地区 治山工事、植林開始

## コンタクト



危機管理センター  
Crisis Management  
Center (CMC)  
HP: [www.cuk.gov.mk/mk](http://www.cuk.gov.mk/mk)

### プロジェクトオフィス

Dimce Mircev No.9, Skopje, Macedonia  
Tel: +389-2-3249-115/145/146  
E-mail: [EcoDRR.MK@gmail.com](mailto:EcoDRR.MK@gmail.com)  
HP: [https://www.jica.go.jp/project/north\\_macedonia/001/index.html](https://www.jica.go.jp/project/north_macedonia/001/index.html)



マケドニア森林公社  
Public Enterprise  
National Forests (PENF)  
HP: [www.mkdsumi.com.mk](http://www.mkdsumi.com.mk)



独立行政法人  
国際協力機構